

公益信託 しまね文化ファンド 平成29年度 後期決定事業一覧

地域文化振興

単位:千円

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成決定額	事業概要
1	第4回 出雲阿国まつり ～ダンスパフォーマンス大会～	出雲阿国顕彰会	出雲市	11月	200	歌舞伎の始祖である出雲阿国を顕彰しようと、「いざや かぶかん 出でよ 平成の出雲阿国」をテーマに、洋舞・邦舞を問わない舞踊の祭典を開催する。また、阿国をテーマに公募した俳句や絵画・写真や関係資料などの展示を行い、阿国への理解を深めてもらう。
2	いなたひめ～おろちの森～	いなたひめ製作実行委員会	出雲市	10月	1,400	神話「やまたのおろち伝説」を新たな切り口で描いたオリジナル作品を、会員と公募による参加者、特別出演者の共演で上演する。衣裳や舞台道具なども全て団体自ら手掛ける。スサノオノミコトが祀られている出雲市須佐神社を会場とし、舞台を通して神話のおもしろさや地域の魅力を発信する。
3	『出雲国風土記を歩く』出版事業	風土記を訪ねる会	松江市	2月	500	団体結成20年に当たり、「出雲國風土記」を中心に独自で調査してきた活動成果を一般にも開放しようと、本にまとめ出版する。説明のほか写真と会員自身のコメントを入れ、分かりやすい構成とする。広く頒布するとともに県民参加の公開講座を開催し、地域の歴史や文化への関心を高める。
4	石見銀山三日籠り 2017	特定非営利活動法人 しまね歴史文化ネットワークもくもく	大田市	9月	300	県内外から参加者を広く募り、銀山が有する歴史文化や暮らしなどを学び体験する滞在型スクーリングとして開催する。地元で銀山に関わる専門家やガイドの会などが講師として協力するほか、最終日の体験発表と意見交換会には地域住民も参加する。石見銀山の価値を正しく学び、地域内外に発信していくことを目指す。
5	日本の根っこ～古代出雲の風土から地域の未来を語る	VOICE OF STONE プロジェクト	松江市	9月	200	多くの石神信仰が残る松江・安来・雲南・奥出雲・飯南を対象に、各地の巨石とそれにまつわる伝承や神話をまとめた巨石マップを作成する。作成にあたっては対象地域に赴き取材を行う。それを資料に出雲の風土や神話、伝承を踏まえた上で地域の未来を考えるシンポジウムを開催し、幅広い視野での意見を募る。
6	地域伝承文化掘り起し	特定非営利活動法人 久栄会	益田市	1月	150	地元益田についてもっとよく知り、様々な市民活動につなげていこうと「益田学」と命名したシンポジウムを開催する。今回は、県西部にあった銅山をテーマに規模や国内での位置づけ、当時の技術などを地元の歴史専門家たちと一緒に考える。益田圏域の歴史的遺産や文化について学び、市民とともにまちづくりへの活用を模索する。
7	〈県民文化祭共催事業〉 益田市文化協会創立35周年記念事業 柿本人麻呂「終焉地はここだ！」	益田市文化協会	益田市	2月	200	文化協会創立35周年として柿本人麻呂に特化した記念事業を開催する。協会加盟団体が人麻呂をテーマに詩吟や舞を披露するほか、人麻呂の町としての今後の課題について市民から意見を募る。ハワイエでは、以前実施された海底調査結果の資料や写真を展示することで人麻呂終焉地の伝承を科学的見解から裏付け、「人麻呂の町益田」を盛り上げる。
			小計	7件	2,950	

芸術文化振興

単位:千円

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成決定額	事業概要
8	第5回 万葉の里・人麿顕彰俳句大会	益田市俳句協会	益田市	3月	150	益田市に伝承の残る万葉歌人・柿本人麿を顕彰する趣旨で、俳句大会を開催する。大会に先立ち子どもから大人までを対象に広く俳句を募り、句集を作成する。3月には誰でも気軽に参加できる俳句大会を開催し、選者による選句と講評を通して俳句の醍醐味を伝える。

公益信託 しまね文化ファンド 平成29年度 後期決定事業一覧

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成決定額	事業概要
9	地域とともに 箏曲コンサート	雲南キッズ邦楽実行委員会	雲南市	12月	200	邦楽音楽に親しんでもらおうと、市内から参加者を募り箏の演奏会を開催する。本番では、参加者たちが地元の講師の指導を受けて仕上げた曲を発表するほか、東京のプロ奏者との共演も行う。子どもだけでなく広い年齢層に声を掛け、箏を中心とした交流を深める。
10	安来節浅草寺公演(仮称)	安来節保存会(安来市)	東京都	10月	500	郷土民謡安来節の第二のふるさとである浅草寺において安来節の公演を行う。午前・午後各1時間の公演で、安来節(唄・銭太鼓・どじょう掬いおどり)の他、山陰地方の民謡含め約10曲を披露する。安来とどじょう掬いの関係や歴史などを英語でも紹介し、来場者には衣裳を付けて踊りを体験してもらおう。
11	<参加者公募事業> 『コーヒーと共に生きた男～三浦義武』上演	『コーヒーと共に生きた男～三浦義武』上演実行委員会	浜田市	3月	600	浜田市三隅町出身で日本のコーヒー文化を築いた三浦義武氏の生涯を、戦前の東京と戦後の浜田を背景に劇化し上演する。当時の風俗や流行を再現し、その中であまり知られていない三浦氏の魅力的な人間像を描く。キャスト・スタッフは地域から広く公募し、地域の芸術力を結集して取り組む。
12	演劇公演『ケータイ・クローン～きみはひとりじゃない～』	劇団 Yプロジェクト	松江市 出雲市	10月 3月	2,000	現代のメディア機器やネット社会の問題を軸に人と人の絆をテーマにしたオリジナル作品を、劇団員と公募で集まった出演者・スタッフで上演する。県内3カ所で行われ、うち1カ所では地元参加者向けのワークショップを実施する。また会場に合わせてバージョンを変え、地域密着型の演劇構成とする。
13	大田ミュージカルスクール「フレンズ」	大田ミュージカル実行委員会	大田市	12～1月	1,000	ミュージカルが音楽・身体表現の面で優れている点に着目し、子どもから大人までを対象にしたミュージカルのワークショップを開催する。地域の伝承を題材にしたオリジナルの作品に沿って芝居・ダンス・歌をプロから学び、最終日にはメイクや衣裳を着け、受講成果を発表する。メイク・衣裳スタッフの育成も図る。
14	UNNANアートスタート2017 遊びで体と心を育てる遊育計画	UNNANアートスタート実行委員会	雲南市	9・10月	800	乳幼児含む子どもたちに、「ダンス」を通して自由に表現する楽しさを体験してもらい、豊かな感性と創造力の育成につなげようとワークショップを開催する。講師にはダンスカンパニー・コンドルズを迎え、参加者を小学生以上として同じ舞台で一緒にパフォーマンスを行う。
15	どんでん奥出雲2017	奥出雲太鼓祭実行委員会	奥出雲町	11月	800	奥出雲町には幼児から大人まで、また障がいを持つ方を含め様々な太鼓チームが日頃から熱心に活動している。これら太鼓団体が一堂に会し取り組みの成果を発表することで、技術の向上と奥出雲ならではの太鼓の魅力を発信する。また、プロの太鼓団体との共演も行う。
16	つわの太鼓 設立20周年事業	つわの太鼓	津和野町	10月	400	団体結成20周年の節目として記念演奏会を開催し、これまでの活動成果を発表する。つわの太鼓1期生輩出のプロ奏者・山田瑞恵さん率いる女性太鼓チーム「DIA+」(ダイアプラス)をゲストに招き、両団体による躍動感あふれる共演舞台も披露する。プロの太鼓奏者との連携により技術向上を目指すとともに、太鼓を通じた文化交流を発信する。
17	第8回 春の縁奏会	出雲交響吹奏楽団「縁一」	出雲市	3月	200	出雲市斐川町を拠点に、社会人と大学生で構成する楽団として平成21年に結成。吹奏楽オリジナル楽曲やポップス系の作品のほか、本邦初演楽曲などにも挑戦し、県内の音楽文化のレベル向上を目指す。県内の他の楽団から客演を招き、ネットワーク作りにも力を入れる。
18	第3回クラリネットフェスティバル in松江	クラリネットフェスティバル実行委員会	松江市	1月	200	県内全域の子どもから社会人までを対象にクラリネット愛好者を募り、合同演奏会を開催する。プロ奏者による指導講習も実施し、本番ではアンサンブルや独奏、出演者全員での大合奏を披露する。クラリネットの魅力を市民に伝えると共に、楽器を通して音楽交流の活性化を図る。

公益信託 しまね文化ファンド 平成29年度 後期決定事業一覧

事業名	団体名	実施地	実施月	助成決定額	事業概要
19 <small>クラブ</small> CLUTCH 2017	CLUTCH 実行委員会	益田市	10月	1,200	県内から意欲的に活動しているアマチュアミュージシャンやダンスグループ、DJなどが集い、それぞれが発表し合う野外コンサートを開催する。ジャンルや年齢層は不問とし、出演者が個性を生かしたステージを繰り広げる。ライブハウスが無い地域で様々な文化を紹介し、音楽やダンスを日常的に楽しめる風土づくりを目指す。
20 〈県民文化祭共催事業〉 サウンドライブしまね アマチュア・ ミュージック・フェスティバル	サウンドライブしまね実行委員 会	県内 5市町村	12～3月	1,700	ライブハウスが少ない島根において、様々なアマチュアミュージシャンに発表の機会を提供することで活動を支え、音楽文化を育てていこうと開催している。ステージでの発表のほかプロの奏者による楽器講習会も実施し、人材発掘と音楽交流人口の拡大を目指す。楽器持込で参加者が自由にセッションしたり、作詞作曲セミナーなど新たなプログラムを実施する。
21 〈県民文化祭共催事業〉 第8回 雲南市総合芸術文化祭 ～華麗なる歌のひびき～	雲南市文化協会	雲南市	12月	1,000	舞台部門では、市内でも愛好者が多い合唱に因んで「童謡」を取り上げ、プロの童謡歌手を講師としたワークショップとコンサートを行う。市内の合唱団体が発表するほか、プロとの共演も披露する。展示部門は「写真」をテーマとし、市内写真団体による作品展示とワークショップを行なう。
22 〈県民文化祭共催事業〉 第13回 奥出雲町芸術文化祭 「おかるフェスタ」	奥出雲町文化協会	奥出雲町	10～11 月	400	奥出雲全域での文化交流を促進させようと毎年開催しており、昨年からは期間を延長し「おかるフェスタ」として実施している。作品展示や舞台発表、ワークショップのほか、町中でのアート展やブックカフェ、地元の文化遺産「たたら」の講座などを行なう。
23 《国民文化祭 なら》 「合唱の祭典」	アカペラーズ(江津市)	大和高田 市	11月	300	高齢者大学校「くにびき学園西部校」のOBと在校生で平成13年に結成し、現在平均年齢77歳のコーラス団体として活動している。国民文化祭にはこれまで2回の参加経験があり、今回は新たに取り組んだ曲などを披露する。約30人が全国の祭典でいきいきと歌い、地域活動への弾みとする。
24 《国民文化祭 なら》 「太鼓の祭典」	匹見太鼓 喜楽組(益田市)	大和郡山 市	10月	100	匹見町出身の太鼓奏者・今福優氏の演奏に魅せられ、平成7年に有志で結成。現在、今福氏の指導を受けながら女性和太鼓チームとして活動しており、昨年には20周年記念公演も行った。初参加となる国民文化祭では、匹見の魅力を伝えたいと石見神楽の囃子や唄を演奏に取り入れる。
25 《国民文化祭 なら》 「相撲甚句の集い～葛城場所～」	雷電松江相撲甚句会 (松江市)	葛城市	10月	150	平成7年に団体を結成。今回初めて参加し、松江藩主不昧公のお抱え力士雷電為右衛門の活躍や功績を主体に作詞して発表する。雷電を全国の場で顕彰するとともに、相撲甚句にのせて島根や松江の歴史を紹介し、今後の活動の糧とする。
		小計	18件	11,700	

合計	25件	14,650
----	-----	--------

単位:千円

※国際文化交流は今期申請無し